

音楽Ⅰテスト	《この道》		教科書 『高校生の音楽Ⅰ』		P.18 日本語で歌おう P.19 《この道》 P.142 日本における西洋音楽の展開 P.157 用語と記号
	氏名		得点	／50 点	評価

① ア～クに当てはまる言葉を下から選び、《この道》の詩を完成させなさい（同じ言葉を2度以上使用してよい）。

雲 山査子 あかしや 道 丘 馬車 時計台

（各1点＝8点）

この（ア）はいつか来た（ア）、
ああ、そうだよ、
（イ）の花が咲いてる。
あ（ウ）はいつか見た（ウ）、
ああ、そうだよ、
ほら、白い（エ）だよ。
この（オ）はいつか来た（オ）、
ああ、そうだよ、
お母さまと（カ）で行ったよ。
あ（キ）もいつか見た（キ）、
ああ、そうだよ、
（ク）の枝も垂れてる。

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	
カ	
キ	
ク	

② 《この道》の作詞者と作曲者について、正しい文章になるように（ ）の中から1つ選び、

○で囲みなさい。（各2点＝8点）

《この道》の詩は、（高野辰之 武島羽衣 北原白秋）によるもので、幼少期の思い出や1925年に訪れた北海道の情景をもとにつくられたという。作曲したのは（滝廉太郎 山田耕筰 中田喜直）で、彼は日本語の抑揚に沿った歌曲を残したり、日本初の常設（音楽学校 合唱団 オーケストラ）の設立などに尽力したりし、日本における（民族音楽 西洋音楽 現代音楽）の礎を築いた。

③ 《この道》の楽譜に使用されている用語や記号について、空欄に名称や意味を書き入れなさい。（各2点＝16点）

用語・記号	名称	意味	用語・記号	名称	意味
<i>p</i>	ピアノ			クレシェンド	
		だんだん弱く	<i>mf</i>	メゾ フォルテ	
		その音の長さを十分に保って	<i>pp</i>		とても弱く
	メゾ・スタッカート				ほどよく延ばして

④ 「日本語で歌おう」について、次の問いに答えなさい。

1) 正しい文章になるように（ ）の中から1つ選び、○で囲みなさい。（各2点＝4点）

日本語は基本的に、言葉の一音一音が同じ強さ、同じ（重さ 長さ）で発音され、音の強弱ではなく（高低 硬軟 軽重）によってアクセントを示す。

2) ガ行の発音についての説明として正しいものを次から2つ選びなさい。

（各2点＝4点）

ア ガ行には、通常の濁音と、鼻を響かせて発音する鼻濁音がある。

イ 語頭、数字、強調したいときは鼻濁音、それ以外は濁音になる。

ウ 《この道》の詩にある「花が咲いてる」の「が」は鼻濁音である。

エ 「学校」の「が」は鼻濁音である。

⑤ 《この道》を歌った感想や、歌った際に気を付けたことや表現を工夫したことその理由とともに書きなさい。（10点）